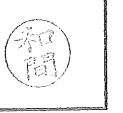


理事長 (総合施設長)	事務局			施設長 (部長)	次長	課長	主任	担当者
	事務局長	総務部長	総務課長					
								

会 議 録

ISC-5.5-01-04

部署名	訪問介護課		
名 称	介護・医療連携推進会議		
開催日	2017 年 11 月 24 日		
時 間	14:00 ～ 15:00		
会 場	いずみの園会議室	記録者	和間 亜紀
出席者	岩崎、富岡、相良、尾形、二木、江口、山野、今永、中尾		
	谷口部長、伊藤次長、橋本課長、中島主任、南、和間		

議 事 内 容
1. 会長挨拶（相良氏） 2017年度 第3回介護・医療連携推進会議を開催の挨拶 認知症サポーター研修を受け、認知症ケアのヒント、勉強になった。 基本は、優しく見守ること、優しく接することを改めて感じた。 2. 中津市役所職員挨拶（介護長寿課介護係 中尾氏） 過日、定期巡回実地指導を行ったが、特に問題となるところはなかった。 今後、在宅希望の方への支援がより充実することを願う。 3. いずみの園在宅事業部部長挨拶（谷口部長） 24時間在宅ケア研究会資料配布。別紙参照 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営状況報告（南） 別紙のとおり 季節の変わり目でパーキンソン病の方に幻覚幻聴があり、安否確認のために7回訪問。 夫と2人暮らしの認知症の方で夫が入院し、不安感からコールし訪問。 一人暮らしの方がニュースで食べ物をのどに詰めて亡くなったというものをみて食事を見守って欲しい。 寒い時期、異常の早期発見、入院しない、させないを目標に体調の悪い方には柔軟に回数 の見直しを行っている。職員の体調管理や手洗い・うがいの励行も行っている。 5. 自己評価・外部評価について（和間） 今回の2月の第4回会議にて、委員の皆様からの評価（外部評価）を集計し報告。 年内提出を依頼。「外部評価」記入したものは連絡いただき、回収に伺う。

議 事 内 容

6. 看護利用者報告・連携状況

(なかつ訪問看護 山野氏)

連携 4 名、1 人は燦燦館でヘルパーと協力しながら行っている。

アセスメント訪問は 3 名。インフルエンザの予防接種が出来ておらず 12 月頃にワクチンが再入荷するようになっている。

暖房を入れる方で、加湿が出来ておらず呼吸器の方はのどを痛め加湿器にカビが生えておりフィルターを交換すると呼吸器症状が治まったと言う事があった。

また暖房を使わず炬燵から出ず、隠れ脱水の方が増えて来ている。十分気を付けていきたい。

(訪問看護ステーションあずき 今永氏)

アセスメント訪問は 24 名うち 1 名が三光園との連携で 23 名はいずみとの連携。

定期巡回連携型の方は前回の方が継続で 1 名の方が利用されている。

認知症、慢性心不全、高血圧がある方でずっと変わりはなかったが、10 月の中旬頃にヘルパーさんより血圧が 90 台であまり起き上がらなくなったと連絡を頂き、臨時で訪問。

訪問時は 80～90 台で起き上がりが出来ない状況だったが、その後主治医の方に連絡し、薬の調整し 2 週間ほどで症状が落ち着いた。

起き上がれない時は 2 人看護師が訪問し、洗髪や清拭を行っていた。

週 1 回の訪問から週 2 回に変えて訪問していたが、落ち着いてからは週 1 回に戻している。

7. 事例報告について (中島主任)

別紙参照

質疑応答

・この事例の方は、行くたびに不在なのか？

→始めの頃と比べ、不在である事は減ったものの、まだまだ不在な事もある。

現在は、腰椎圧迫骨折があるので中津駅まで行けているかどうか、定かではないが今後、GPS 機能が付いた「中津市どこどこサービス」の利用を申し込んでおり、それがどこまでわかるのか把握できていないが、歩いた経路など分かる機能があればよいと思っている。

・持ち歩いてるペンダントは何なのか？

→GPS は常に身に付けてないと意味がないため、まずは習慣化して貰うために変わりのペンダントをつけている。「お守りですよ」と声掛けしている。

ペンダントを付けるようになって 2 週間程経過したが、本人が外すことなく、ペンダントを身に付けてくれている。

申請が通ればそのペンダントを GPS に変えて本人の居場所がわかるようにしたい。

議 事 内 容

- ・「中津市どこどこサービス」について初めて聞くので教えてほしい。

→別紙参照

年明け頃には、この事例の方に、利用できるようになるので、この事例を次回の介護・医療連携推進会議で発表を行いたい。

- ・事例の方に、身寄りの方（下関）が、亡くなった時だけに連絡をと言われたと報告されていたが、このサービスを使う際にはだれが連絡するのか？

→成年後見制度を利用されているので後見人の方、もしくはケアマネに連絡してもらおうといった流れを考えている。また担当者会議でそのところを詰めていきたい。

- ・民生委員より

民生委員としては住民の介護利用状況の把握が出来ていない。誰にヘルパーが入っているか等、情報が全く入ってこない。

つい最近、ある方が前日に出前を取り、次の日の朝皿を取りに伺った時に、問いかけに返答がない為おかしいと班長さんに相談し、家の中に入ると仮死状態。

人工呼吸を行い、救急搬送し市民病院へ。その班長さんはどうしてよいか分からず民生委員の所に相談に来た。警察にも話したが、担当地域の民生委員ではなく、資料を持ってきた手続きをしたことがあっただけの関係であった。

今は、昔と違い勝手に家の中に入っていけない。電気がついているかどうかで安否確認をしている。

私たちには情報がなかなか来ない。ヘルパーさんの訪問した後の情報だけでも欲しい。

民生委員になった以上、自分の担当している地域の方々を、亡くなった後に見つけるのではなく、その前に見つけて子供や親族に連絡してあげたいという思いがある。

情報を地域の民生委員にも教えてほしいと思う。

次回の会議開催は、2月予定

以上

2017年度第3回会議開催報告書

事業所	名称	いずみの園コールセンター24時間サービス 介護・医療連携推進会議			担当者	和間 亜紀	
	開催地	いずみの園会議室					
開催状況	日時	2017年11月24日（金） 14：00 ～ 15：00					
	区分	氏名	出欠	分野	区分	氏名	役職
	委員	岩崎 信一	(出)・欠	利用者家族代表	事務局	谷口 弘美	在宅サービス事業部部長
		富岡 猛	(出)・欠	地域住民代表		伊藤 保幸	在宅サービス事業部次長
		尾形 かおり	(出)・欠	地域の医療機関代表		橋本 由美	訪問介護課課長
		二木 久美子	(出)・欠	地域の医療機関代表		中島 喬生	訪問介護課主任
		相良 康德	(出)・欠	知見を有する者		南 真吾	訪問介護課面接相談員
		江口 智佳子	(出)・欠	地域包括支援センター		和間 亜紀	訪問介護課主任
		中尾 美沙	(出)・欠	中津市職員			
		山野 英子	(出)・欠	連携訪問看護ステーション			
		今永 亜希子	(出)・欠	連携訪問看護ステーション			
		有隅 たまき	出(欠)	連携訪問看護ステーション			
開催概要							
1. 活動状況報告		別紙のとおり					
2. 会議録		別紙のとおり					
3. 委員の要望・助言・評価		4. 左記に対する事業所の対応、考え方					
民生委員として地域住民の介護保険利用状況の把握ができていない。情報があることで、住民の安否確認を行うことが容易になると考える。		守秘義務、個人情報の問題もあるため、どこまでの情報を民生委員に伝えるのか、また、民生委員の中にはそれを担うには責任が重すぎると考えている方もある。地域住民それぞれの考え方もある難しい問題でもある。					
市役所の「どこどこサービス」について、教えてほしい。		別紙参照。事例の方には、2018.1月に利用開始できるようになる予定。次回の介護・医療連携推進会議にて発表を行いたい。					
5. その他							

2017 年度第 3 回介護・医療連携推進会議

日時 2017 年 11 月 24 日（金）

14 : 00～15 : 00

場所 中津総合ケアセンター

いずみの園 ミーティングルーム

いずみの園コールセンター

24 時間サービス

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 H29年度

2017. 4～2018.3

利用者実績	H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	月平均
	登録者	64	64	65	62	65	67	67						454	64.86
	前月継続者	57	59	62	61	59	64	63						425	60.71
	入院	2	1	1	2	1	3	2						12	1.714
	保留	1	0	2	0	1	2	1						7	1
	新規	4	4	3	1	5	6	4						27	3.857
	廃止(月)	3	4	4	3	4	3	4						25	3.571
	利用実績	61	63	62	60	64	65	64						439	62.71
	利用率(%)	95.31	98.44	95.38	96.77	98.46	97.01	95.52						96.7	
訪看利用者数	訪看利用	7	8	8	7	8	9	9						56	8
	アセスメント	57	56	57	55	57	58	58						398	56.86
	合計	64	64	65	62	65	67	67						454	64.86
利用世帯 種別 利用実績	地域訪問型	52	52	53	53	54	54	54						372	53.14
	住宅型	12	12	12	9	11	13	13						10	11.71
	合計	64	64	65	62	65	67	67						454	64.86
在宅 世帯数	一人暮らし	35	37	40	36	39	38	36						261	37.29
	高齢者世帯	10	7	6	8	8	11	10						60	8.571
	家族同居	7	8	7	8	7	5	8						50	7.143
施設 世帯数	一人暮らし	9	9	9	9	9	9	9						63	9
	高齢者世帯	3	3	3	1	2	4	4						20	2.857
	合計	64	64	65	62	65	67	67						454	64.86

定期巡回訪問実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	月平均
地域訪問型	実施回数	2980	3125	3026	3225	3296	3015	3148						21815	3116.4
施設型	実施回数	759	958	776	661	791	799	912						5656	808.0
	合計	3739	4083	3802	3886	4087	3814	4046						27471	3922.4

要介護1	利用者数(人)		23	20	21	23	28	29	25						169	24.14
	訪問回数(回)		709	726	810	907	1163	1004	1086						6405	915
	随時(回)		2	3	1	3	9	7	0						25	3.571
	訪看	連携	0	1	1	1	2	2	1						8	1.143
		アセスメント	23	20	20	22	26	27	24						162	23.14
	生活状況	一人暮らし	16	15	17	19	20	19	17						123	17.57
		高齢者世帯	6	4	4	4	8	10	8						44	6.286
家族同居		1	0	0	0	0	0	0						1	0.143	
要介護2	利用者数(人)		17	20	18	19	19	20	20						133	19
	訪問回数(回)		1097	1261	1147	1129	1132	1145	1148						8059	1151
	随時(回)		5	14	7	4	10	11	8						59	8.429
	訪看	連携	3	3	3	3	3	3	3						21	3
		アセスメント	14	17	15	16	16	17	17						112	16
	生活状況	一人暮らし	11	16	16	16	15	16	16						106	15.14
		高齢者世帯	4	3	3	2	3	3	3						21	3
家族同居		2	1	1	1	1	1	1						8	1.143	
要介護3	利用者数(人)		11	9	9	10	10	9	11						69	9.857
	訪問回数(回)		698	720	634	686	691	476	561						4466	638
	随時(回)		2	4	0	1	0	2	2						11	1.571
	訪看	連携	1	1	1	1	1	2	2						9	1.286
		アセスメント	10	8	8	9	9	7	10						61	8.714
	生活状況	一人暮らし	5	6	6	6	7	5	7						42	6
		高齢者世帯	2	1	1	1	0	0	0						5	0.714
家族同居		4	2	2	3	3	4	5						23	3.286	
要介護4	利用者数(人)		10	12	11	7	7	7	10						64	9.143
	訪問回数(回)		929	953	801	909	931	1041	1082						6646	949.4
	随時(回)		1	8	12	4	10	2	12						49	7
	訪看	連携	2	2	1	1	1	1	2						10	1.429
		アセスメント	8	10	10	6	6	6	8						54	7.714
	生活状況	一人暮らし	6	7	7	4	4	4	6						38	5.429
		高齢者世帯	2	3	2	1	1	1	2						12	1.714
家族同居		2	2	2	2	2	2	2						14	2	
要介護5	利用者数(人)		3	3	3	3	1	2	1						16	2.286
	訪問回数(回)		355	423	410	255	170	168	169						1950	278.6
	随時(回)		0	0	0	0	0	0	1						1	0.143
	訪看	連携	1	1	1	1	0	1	0						5	0.714
		アセスメント	2	2	2	2	1	1	1						11	1.571
	生活状況	一人暮らし	1	1	1	1	1	1	1						7	1
		高齢者世帯	0	0	0	0	0	0	0						0	0
家族同居		2	2	2	2	0	1	1						10	1.429	
平均介護度			2.3	2.3	2.2	2.2	2.0	2.0	2.1							2.2
平均年齢			86.0	85.5	85.2	84.9	85.3	84.6	84.8							85.2

定期巡回随時対応型訪問介護看護【地域訪問利用者】実績

H29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	平均
要介護1	利用者数(人)	20	17	18	20	23	23	19						140	20
	訪問回数(回)	647	644	751	805	809	756	820						5232	747.4
	訪問	連携	0	0	0	0	1	1	0					2	0.286
		アセスメント	20	17	17	20	23	22	18					137	19.57
	生活状況	一人暮らし	14	13	13	16	18	16	12					102	14.57
		高齢者世帯	5	3	3	3	6	7	6					33	4.714
		家族同居	1	1	1	1	0	0	0					4	0.571
要介護2	利用者数(人)	13	16	16	15	16	15	15						106	15.14
	訪問回数(回)	868	918	778	770	946	787	736						5803	829
	訪問	連携	2	3	3	2	2	3	2					17	2.429
		アセスメント	11	13	13	13	14	12	13					89	12.71
	生活状況	一人暮らし	8	12	12	12	13	12	12					81	11.57
		高齢者世帯	3	3	3	2	2	2	2					17	2.429
		家族同居	2	1	1	1	1	1	1					8	1.143
要介護3	利用者数(人)	8	7	7	8	9	8	10						57	8.143
	訪問回数(回)	488	447	365	410	514	388	468						3080	440
	訪問	連携	1	1	1	1	1	2	1					8	1.143
		アセスメント	7	6	6	7	8	6	10					50	7.143
	生活状況	一人暮らし	4	4	4	4	6	4	6					32	4.571
		高齢者世帯	1	1	1	1	0	1	0					5	0.714
		家族同居	4	2	2	3	3	3	5					22	3.143
要介護4	利用者数(人)	8	9	9	6	5	6	9						52	7.429
	訪問回数(回)	810	788	722	883	829	936	972						5940	848.6
	訪問	連携	2	2	2	2	1	1	1					11	1.571
		アセスメント	6	7	7	4	4	5	8					41	5.857
	生活状況	一人暮らし	5	6	6	4	2	4	5					32	4.571
		高齢者世帯	1	1	1	1	1	1	2					8	1.143
		家族同居	2	2	2	2	2	2	2					14	2
要介護5	利用者数(人)	3	3	3	3	1	2	1						16	2.286
	訪問回数(回)	355	423	410	255	170	168	169						1950	278.6
	訪問	連携	1	1	1	1	0	1	1					6	0.857
		アセスメント	2	2	2	2	1	1	0					10	1.429
	生活状況	一人暮らし	1	1	1	1	1	1	0					6	0.857
		高齢者世帯	0	0	0	0	0	0	0					0	0
		家族同居	2	2	2	2	0	1	1					10	1.429
平均介護度		2.3	2.3	2.3	2.1	2.0	2.1	2.2							2.2
平均年齢		84.5	84.6	85.2	84.7	84.6	84.0	83.6							84.5

2017年11月24日
医療連携推進会議

認知症高齢者

「自分の事は自分でするよ」
～その人らしく生活するために～

訪問介護
中島 貴生

*当発表は個人情報使用同意を得ています。

事例紹介

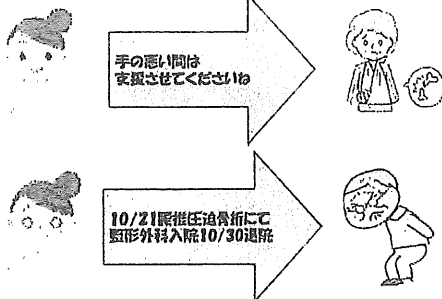
A 様 84歳 要介護3 女性 独居 現病歴：アルツハイマー型認知症
左鎖骨遠位端骨折

生活歴（サービス導入までの経緯）

- ・下関生まれ。夫の実家が国見にあり有名な作り酒屋あったが夫は東京製鉄で勤務。子供一人居かる。
- ・日田に住んでいた頃は子供3回ほど帰省していたがH16年に引っ越してからは会ってなく15年近く音信不通。
- ・誰を頼りに申込に転居したかは不明。ご主人、他界しているが本人、他界している事は理解しているが、いつどこでなどは不明
- ・日中の大半を外（中津駅の待合所、パチンコ屋、ゲームセンターで過ごす。
- ・H28/7頃より「通帳を失くした、盗られた。」と市に相談。
- ・地域包括支援センターが介入し徐々に信頼関係を築き介入より約1年後、あんしんサポートの契約となる。
- ・「困っている事はない、自宅にあげたくない。」とサービス利用には至っていないが「ご飯も食べてます。」と言うが訪問するとイリコを食べていたり、近所の方の所に行きおにぎりを作ってもらっているような状態が続いていた。
- ・H29/9/25 19：00頃、道の側溝にはまり転倒し右手首骨折し整形外科に入院。シーネ固定していても自覚がなく外す為、ギブス固定。入院中に介護申請。行政と地域包括支援センターにより成年後見人制度を活用する為、市長申し立てを行う。
- ・同年10/10退院の運びとなり定期巡回臨時対面型訪問介護・看護・デイサービス週2回 利用開始となる。

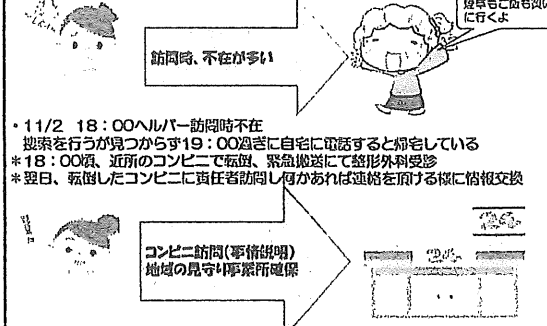
サービス利用開始からの経緯

- ・H29/10/10訪問開始
受け入れ拒否が強いとの事にて
毎日9：30から一日1回（食事・掃除）



サービス利用開始からの経緯

- ・10/30退院
転倒を繰り返しており安否確認を含め（食事・掃除・排泄・安否確認）
毎日9：30 13：30 18：00一日3回訪問 配食サービス月～土（夕食利用）
寝る時も寝る間に行くとよ



「保険者の理解が非常に低い」 定期巡回の関係団体、市町村のやる気を問題視

ツイート シェア 206



〔社保審・介護給付費分科会 13日〕

我々も非常に悩んでいる。――。当事者の団体からそんな声が漏れた。

社会保障審議会・介護給付費分科会の13日のヒアリング。定期巡回・随時対応型サービスの推進に力を入れる「24時間在宅ケア研究会」の富永健司理事長が参加した。

第147回社会保障審議会介護給付費分科会資料

なかなか普及が進まない要因を問われると、「保険者の理解が非常に低いという感想を持っている。もう少しきつく言うと、地域包括ケアシステムに取り組む責任感ややる気が何とかならないかと思っている」などと問題を提起。「地域福祉の向上という使命感を持って社会福祉法人にもっと積極的に取り組んで欲しい」「ケアマネジャーの理解も今ひとつ。さらなる広報も重要」といった認識も示した。

厚生労働省のデータによると、昨年4月の時点で全国の定期巡回・随時対応型サービスの事業所数は633件。利用者はおよそ1万3800人で、全体の1%未満にとどまっている。

「鳴り物入りで登場した割には広がっていない。そもそもの建て付けに無理があるのではないか。他のサービスでこと足りるんじゃないか、という気もする」。日本医師会の鈴木邦彦常任理事はそう指摘した。

富永理事長はこれに対し、「地域で生活する高齢者へ施設にいるような安心感を提供できるサービス。最期まで自宅で暮らしたいという希望に応えるものでニーズはある」と反論。「地域包括ケアの推進にはこのサービスが欠かせない。2025年までにどう展開していくか、今後も真剣に取り組んでいきたい」と語った。

来年度の介護報酬改定に向けては、オペレーターと他の職員の兼務を認める範囲をさらに拡大することや、「初任者研修」の修了者もオペレーターを担えるようにすることなどを提案。委員からは、「どこまでルールを甘くすれば普及するのか」「利用者の重度化が進むなかで、オペレーターの資格要件を緩和するのは妥当なのか」といった疑問の声もあった。

「中津市どこ・どこサービス」の開始について

—中津市徘徊高齢者等位置情報提供サービス事業—

中津市では、認知症などにより行方不明となる恐れがある高齢者の方を抱える家族を支援するため、「中津市どこ・どこサービス」を開始いたします。

全国で認知症により高齢者が行方不明等になる案件が急増しています。そこで中津市では、認知症等により徘徊してしまった場合に迅速に捜索し、早期に発見するために、徘徊の恐れのある高齢者等の事前登録をお願いして、実際に行方不明になった際に、早期発見できるよう「中津市徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業」を平成 27 年 10 月から行っています。現在の登録者数は 20 名です。（平成 28 年 7 月 1 日現在）

また、この事前登録をされた方等を対象に住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになるように、平成 28 年 8 月から「中津市徘徊高齢者等位置情報提供サービス事業（中津市どこ・どこサービス）」を開始します。これは、認知症の症状等により行方不明となる恐れのある高齢者の方（ご家族）に、GPS 機器を貸与するものです。GPS 機器（ポケットサイズ）を高齢者が所持し、行方不明となった際は、家族等がコールセンターへ連絡すると、居場所を探知し、家族・警察等に知らせることで、早期発見に繋がります。

＜対象者＞

認知症等により徘徊する恐れのある在宅の高齢者（原則、介護保険法に定める要介護認定において要介護又は要支援と認定された徘徊症状がみられるもの）の方です。

＜利用料金＞

初期費用 3,240 円のうち半額の 1,620 円を個人で負担して頂きます。月額レンタル料金は無料です。（初期費用残りの半額及び月額レンタル料金 1,620 円は市が負担）

＜お問い合わせ先＞ 介護長寿課高齢福祉係 高野・川谷

TEL 0979-22-1111（内線 736・737）

「どこ・どこサービス」

大切な人の居場所を探します。

「知らない間に居なくなっている」

「居場所を探すのが大変」など心配事は尽きません。

「どこ・どこサービス」は大切な人の居場所を探す事ができるGPS 端末です。



4.5cm

3.8cm

本体重量

約 30g

連続待機時間

約 400 時間

『どこどこサービス』は、色々な場面で役に立ちます。

認知症の方へ

徘徊や迷子は大変な問題になっています。

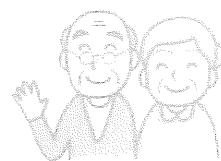
『どこ・どこサービス』

では、ご家族等の支援

者の要請に応じて居場

所を探して、オペレー

ターがお知らせします。



『どこ・どこサービス』の利用方法

①居場所検索依頼



家族・支援者

④居場所報告



コールセンター

②居場所検索

③居場所通知



利用者

申込時にいただいた支援者の方から
コールセンターにご連絡下さい。

※登録されていない支援者からの要請に
対応できないこともあります。

コールセンターから利用者の居場所を
探します。

※機器の電源が切れていたり、NTT ドコモの
電波が届かない場所または、利用者が所持し
ていない場合は、居場所を探せないことが
あります。

難しい操作はありません。

※機器を持って外出するか、
専用くつをはいて外出するだけで
特に操作は必要ありません。

月額レンタル料金

無料

初期費用 1,500 円 (税込 1,620 円)

■ お問い合わせ先

中津市 福祉部
介護長寿課 高齢者福祉係

TEL:0979-22-1111 (内線 736・737)